

旧騎西高校の活用

スポーツ施設が整った旧騎西高校の有効活用を

答弁：加須市だけでなく、県民のスポーツの拠点であるという意識のもと再活用できればと考えており、できるだけ早く方向性を見い出す努力を重ねてまいります。

吉田 健一 議員

吉田 旧騎西高校は、スポーツ施設が整っていることから、有効活用すべきと考えます。埼玉県では有効活用に向けての組織ができたことですが、今後について考えをお伺いします。また、旧騎西高校を活用する場合、藤まつりの開催等で駐車場が不足していることから、駐車場の拡張や、双葉町の方たちの避難所であったことを表す記念碑等を設置することについて考えをお伺いします。

市長 旧騎西高校を有効活用するにあたり、県で組織された会議のメンバーには、私や議長も加わっており、加須市の意向が十分に反映される会議であると思っております。加須市だけでなく、県民のスポーツの拠点であるという意識のもと再活用できればと考えており、できるだけ早く方向性を見い出す努力を重ねてまいります。

スポーツクライミング

クライミングのまちとして、オリンピックへの考えは

答弁：4月のワールドカップも皆様のご協力、ご支援をいただき、成功させてまいりたいと考えており、このような取組はオリンピックにつながっていくものと思っております。

斉藤 理史 議員

斉藤 「クライミングのまちかぞ」として、ポルダリングジャパンカップのような大きな大会を終えての感想をお伺いします。また、4月に開催されるワールドカップ、さらには2020年東京オリンピックへどのようなつながっていくのかお伺いします。

市長 このような大きな大会は過去にも開催しましたが、オリンピックの追加種目候補にクライミングが挙げられてきたことから、今までにない盛り上がりであったという感想を持っており、市としても最終的にはオリンピックの正式会場になることを視野に入れ、様々な準備を進めてまいります。また、4月のワールドカップも皆様のご協力、ご支援をいただき、成功させてまいりたいと考えており、このような取組はオリンピックにつながるものと思っております。オリンピックが終わりでなく、クライミングというスポーツを通して、子どもからある一定の年齢の方まで、このスポーツになじんでいた、たく機運が市内で広がっていくことになればと考えております。

魅力あるまちづくり

若者に魅力あるまちづくりへの考えは

答弁：地域の魅力創出には、若い世代の発想や活力が欠かせないため、まちづくり活動が地域に根差した若い世代の活動となるよう育成支援してまいります。

新井 好一 議員

新井 人口減少社会の中、魅力あるまちづくりが求められておりますが、若者がいかにまちづくりに参加していくのかが大きな魅力をつくり出す一つのキーワードであると思っております。そこで、若者をいかに結集させ、また若者の組織をどのようにつくっていくのかお伺いします。

総合政策部長 若い世代に魅力のあるまちづくりについては、加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略の戦略プロジェクト「スポーツを通じた若者が集う地域づくり」において、「クライミングや女子硬式野球の振興等を位置付けており、また、戦路プロジェクト「快適な暮らしを支援する」において、地域コミュニティケーションの充実を位置付けております。地域の魅力創出には若い世代の発想や活力が欠かせないため、まちづくりにつながる活動が地域に根差した若い世代の活動となるよう着実に育成支援していくことが大切と考えております。

福祉避難所

福祉避難所整備の更なる充実を

答弁：拠点避難所の一部を福祉避難所として活用するため、市内全22小学校の施設を調査し、平成28年度当初予算にケアスロープ等福祉避難所指定に向けた関連備品の整備について計上いたしました。

松本 英子 議員

松本 災害時に一般の避難所では生活できない障害者や要介護者、妊産婦の方等が生活できる避難所として、福祉避難所の指定が求められています。現在は18か所、市内の拠点避難所全てに指定されています。支援が必要な方が安心して避難できる体制づくりは自治体の役割です。私は拠点避難所の一角に福祉避難所の創設を提案しましたが、その後の対応と平成28年度に予算化した内容についてお伺いします。

福祉部長 福祉避難所設置・運営に関するガイドラインによると、福祉避難所については小学校区に1か所程度の割合で指定することが望ましいとされていますので、拠点避難所の一部を福祉避難所として活用することについて、市内全22小学校の施設の調査を実施いたしました。